

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	15H05783	研究期間	平成27年度～平成31年度
研究課題名	治療効果を指向した新規抗菌薬の創出	研究代表者 (所属・職) (平成30年3月現在)	関水 和久 (帝京大学・医真菌研究センター・教授)

【平成30年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、現在多剤耐性化が進む細菌感染症に対する新規抗菌剤開発のため、病原性細菌の宿主における感染・増殖に必要な標的分子を同定し、その機能を明らかにすることを目的としている。</p> <p>宿主環境における病原性細菌の網羅的な遺伝子発現解析を行い、黄色ブドウ球菌の感染状態に応じた遺伝子発現の差違とともに、non-coding RNA についてもその関連を明らかとしている。さらに新規の病原性遺伝子候補の同定も行われていることから、当初の目標に向けて順調に研究が推移しているものと認められる。</p>		